

止まり木



創立の日に想う



6月28日、今日は横堤中学校の創立記念日です。昔は創立記念日は学校がお休みになっていたので生徒もその日をよく知っていましたが、みんなは今日の日のことを知っていたでしょうか。学校にとってはとても大切な日なので、少し歴史をさかのぼってみたいと思います。

まず茨田中学校より茨田北中学校が独立しました。その後、さらに茨田中学校区の内の横堤小学校区を分離独立し、昭和56年(1981年)4月1日に大阪市立横堤中学校が開校しました。初代校長の木村重治先生は校歌を作詞された方です。教職員18名が着任し横堤中学校がスタートしました。その年の4月6日、第1回入学式では新入生150名が入学しました。この年は1年生と2年生の2学年だけだったようです。そして第2期の工事(体育館や技術室など)が竣工した後の6月28日に開校記念式典が挙行され、この日を創立記念日としたのです。今年は45回目の創立記念日となります。たくさんの人たちの思いのこもったこの横堤中学校の一人として何かを想う1日にしてほしいと願っています。

ついでと言っては何ですがみんなの住む鶴見区の区名の由来についても紹介します。



区名の由来

鎌倉時代、源頼朝が富士の裾野で巻狩(四方から狩場を囲んで獣を捕らえる狩り)をしたときに、千羽の鶴に金の短冊を付けて放したところ、この地に飛来して住み着いた。その鶴を見物に来る人が多く、「鶴見」という呼び名がついたという言い伝えがあります。

一方、日本書紀にその名を残す草薙の剣を盗み出し、新羅の国に逃げようとしていた僧の船が難破してしまい、辿り付いた所で祟りを恐れた盗賊が草薙の剣を放り投げて逃げ出したという記述の古代の伝記(八剣伝説)があり、「ツルギ」が訛って「ツルミ」になったと言う説もある。付近の摂津国と河内国の国境は剣碓・剣堤と呼ばれ、剣街道と呼ばれる道路(現・大阪府道159号平野守口線の一部区間)が通っており、草薙の剣の御霊を御神体として奉納している阿遲速雄神社がある。なお、難読地名として有名な放出(はなてん)の由来の一つにも、前述の僧が草薙の剣を放り投げたことを古代の記述で「放ち出で(はなちいで)」と記述していたことからそれが基となってその地を「放出」としたというのがあります。

地名としては、放出とともに旧東成郡榎本村の大字の一つである「下之辻」が、1925年の大阪市編入の際に「鶴見町」に改称されている。また、分区の際には「放出区」「茨田区」なども候補に挙がっていたが、協議の結果「鶴見区」と決定しました。そして、2008年には鶴見区マスコットキャラクター「つるりっぷ」が誕生しました。少し勉強になりましたか？

